

いいたて  
便り

## たくさんの海の生き物に出会いました

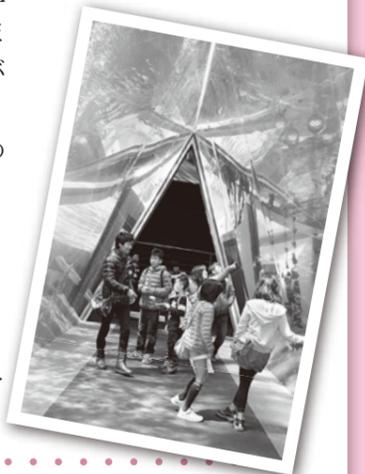
12/2

仲良く釣りを楽しんでいた  
山田慎人さん(左・3年生)  
と高橋大河さん(3年生)



東北海事広報協会の支援を受け、村主催の「アクアマリン見学会」が行われました。小中学生とその家族らは2台のバスに分乗して出発。「アクアマリンふくしま」では、大水槽や、トドたち海獣のプール、海辺の生き物に触れるタッチプールなどで多くの海洋生物に親しみ、水族館での休日を満喫しました。

「潮目の海」を美しく見せてくれる大水槽▶



## 12/4 12/7 日頃の備えを万全に！

11月から実施してきた防災・救命訓練を、12月4日は松川第二、7日は松川第一と相馬大野台の応急仮設住宅で行い、多くの住民が参加しました。その一つ松川第二応急仮設住宅には福島南消防署の署員が訪れて、緊急時の避難の方法やAED（自動体外式除細動器）の使用手順などについて指導を行いました。



▲人形を使った救命訓練にも取り組みました(松川第二仮設にて)

ポキ  
ンデ  
ラク  
タイ  
オン  
と



ミスタードーナツのキッチンカーが幼稚園を訪れ、出来たてのドーナツをプレゼント。園児たちは本格的なトッピングの材料を使ってドーナツをデコレーションしたり、キャラクターと一緒に体操をしたり、店員さんの制服を着て写真撮影をしたり、わくわくの体験に目を輝かせていました。

▲ライオンのポーズで決めています

## ドーナツ屋さんに変身しました！

12/6

▶自分  
は特  
別  
に  
お  
い  
し  
い  
ド  
ー  
ナ



## 11/20 手編みの帽子をプレゼント

高橋フヂノさん(小宮)が、手編みの帽子30個をいいたてホームに贈りました。「もらった毛糸でね、一つ覚えのように、帽子を編んでみたの」と、はにかむように笑う高橋さん。支援で受け取ったいろいろな色の毛糸を使って、透かし編みが美しい帽子を、避難先で一つひとつ編み上げました。

▶高橋さんは87歳。手先の器用さが見事です



ふんわりと手触りもやさしい帽子です▶



いいたて  
便り

ひと月のできごとを  
振り返ってお知らせします

## 栃木県に避難する皆さんが集いました

11/25



▲大きな丸テーブルが並び多くの家族が集いました

栃木県宇都宮市で開かれた「ふるさと大交流会」。被災各地から栃木県に避難する皆さんが集い村民5人も参加しました。会の中では各地の芸能披露や、じゅうね餅・いも煮など郷土食の振る舞いが行われ、支援者と避難する皆さん同士が交流しながら、それぞれの故郷の良さを伝えあう機会となりました。

## 11/26 11/27 かんたんクッキング & 美容セミナーで 元気に美しく

味の素グループの支援を受け松川第一・第二応急仮設住宅の集会所で村社会福祉協議会主催の「かんたんクッキング&美容セミナー」が開かれました。移動式のキッチンを使った料理教室では、参加者が鮭入り餃子や野菜のレンジ煮など栄養バランスのよいアイデア料理を作り会食も楽しみました。この料理教室は順次全仮設住宅で行われる予定です。

▶協力して作った料理を盛り付けています



(松川第一仮設にて)

◀完成です、おいしそう！

